

平成十九年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成十九年八月一日～十月末

投句数 二、七一七句

特選三句

天

赤とんぼのせて舟出や由比ヶ浜

神奈川県茅ヶ崎市 日比孝義

地

萩寺の萩は掃かれず括られず

東京都新宿区 岩島 齊

人

名月や波の穂散らす和賀江島

神奈川県鎌倉市 星野谷光夫

入選句

一般の部

白蓮を映して水の色動く

神奈川県横須賀市

山口義一

ぼんぼりに灯点してより秋に入る

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

振り返る茅の輪のなかに絵ぼんぼり

神奈川県横浜市戸塚区

紅林実

薄れたる家紋の桶や墓洗ふ

埼玉県狭山市

古谷彰宏

われも又風待つところ秋桜

東京都町田市

竹内弘

水音に萩なだれ咲く寺の庭

神奈川県茅ヶ崎市

美濃島トシ子

秋彼岸伽藍の影を僧の列

神奈川県横浜市青葉区

寺橋正光

結界の闇の底より鉦叩

東京都多摩市

中山正喜

萩叢の膨るる風に翔ちし蝶

神奈川県横浜市旭区

柳沢栄蔵

ひがん花二本三本寺の裏

大阪府豊中市

安藤知明

鎌倉の秋まだ浅し人力車

神奈川県横須賀市

笠井邦江

朝寒や箒の音の遠近に

神奈川県逗子市

佐藤信子

空よりも海の明るき良夜かな

神奈川県鎌倉市

高橋千鶴

秋惜しむ夕日の海に和賀江島

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

鶉鳴くや昼月かかる源氏山

神奈川県鎌倉市

吉良江美子

(順不同)

入選句

子供の部

お月見だうさぎがもちを作ってる

神奈川県川崎市高津区

高橋竜功

かまくらにひっそりとさくひがな

東京都目黒区

原千夏

墓参り今なき母に感謝する

埼玉県越谷市

田澤志帆

蝉が鳴く円覚寺には自然あり

東京都足立区

宮岸司瑳

とんぼたち自由に空を飛んでいる

東京都目黒区

宮武茉由

やまのなかあおいどんぐりおちていた

神奈川県川崎市川崎区

成重花鈴

空を飛ぶまどから見えるこいのぼり

東京都調布市

佐藤光翼

ひぐらしの声が夕空ひとりじめ

神奈川県横浜市港南区

柳原瑠唯

大仏に似合っているよひがん花

神奈川県横浜市

村上翼

長谷寺の秋の空気がすばらしい

埼玉県深谷市

山本恵菜

むしたちのきれいなこえはてんのこえ

千葉県市原市

橋口徹

あきばれのことかまくらのかぜがふく

神奈川県相模原市

小林風生

鎌倉の歴史かんじる秋の風

神奈川県横浜市泉区

結城充

台風は大仏負けずたのもしい

千葉県八街市

根本奈津江

鎌倉の秋の大仏きみしそう

千葉県鴨川市

鈴木香南

(順不同)